

部局名	子ども部	所属名	元気子ども課	所属長名	石塚 三男	電 話	483-1151 内線2260
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4126	事務事業名称	プレーパーク事業					短縮コード	経常		臨時	4126
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		根拠法令等		まっ白い広場（プレーパーク）づくりモデル事業費交付要綱 八千代市次世代育成支援行動計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
平成17年3月策定の「次世代育成支援行動計画」の重点施策に子どもや市民が行政と共に既存の遊び場や自然を利用したプレーパーク作りを検討することが掲げられていること、また、県立八千代広域公園計画事業地内の一部が利用可能になったことから、19年10月プレーパーク事業を第3次総合計画に位置づけ、平成19年10月市民公募を行い、市民・NP0法人・行政の協働事業とした。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
子どもの社会性・創造性を養う事のできる遊び場として、平成20年5月10日から週2回の実施しているが、親子でこの場を利用することが多く、特に男性の育児参加、子育て参加の場として有効利用されてきている。また、地域との交流の場として活用されており、今後も良好な地域との関係を維持することが重要と考える。また、事業地の整備や充実を図るために、同事業の周知や協力体制を市内で構築することが必要と考える。					大項目（節）	02	社会福祉					
					中 項 目	01	児童福祉					
					小項目（施策）	02	児童の健全育成の推進					
					細 項 目	02	子どもの居場所の整備					
				実施計画の計画事業	1204	プレーパーク事業						
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成21年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： プレーパーク事業を県立八千代広域公園計画の事業地内の自然林に開設することを計画、第3次総合計画に位置付けたプレーパークは、子どもが「自分の責任で自由に自然の中で遊ぶ」をモットーとし、地域住民の参画を推進するため実行委員を公募し、「八千代市民プレーパークの会」を立ち上げ市民とNP0法人、行政の3者の協働で、整備、事業実施の準備を行い、平成20年5月10日から週2回土・日プレーパークを実施した。							
	※平成21年度に計画していること： プレーパーク事業周知のための広報活動、市民研修、事業地の整備を市民・NP0法人・行政の協働で実施すること。							
意図 （何を狙っているのか）	プレーパークが子どもの社会性・創造性を養うことのできる体験の場として、また、事業地内の整備等、市民・NP0・行政との協働による市民参加型の事業運営を行う。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民（18歳以下の子ども）	人	0	35,513	33,970	34,470	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	プレーパーク開催日数	日	0	87	87	97	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	プレーパーク利用市民	人	0	2,200	3,424	3,600	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4126	事務事業名称	プレーパーク事業				所属名	元気子ども課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			子どもの社会性・創造性を養う事のできる遊び場として、同事業の実施しているが、現状は、家族の余暇を過ごす場としての利用が多いため、家族以外のコミュニケーションによる子ども自身の自主性や仲間づくりを体験する場としては、開催日等の改善が必要である。また、男性保護者の参加が多いので、男性保護者への同事業の周知や研修を実施し、同事業を男性の育児参加、子育て参加の場として有効に活用されるようにしてまいりたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			子どもの社会性・創造性を養う事のできる遊び場として実施しており、子どもの遊びを支えるプレーリーダーの配置等が必要と考えているため、コストは不変である。しかしながら市民へ同事業の周知を図り、同事業への支援養成講座の実施等で、市民、NPO、行政の協働事業として事業の内容については向上を図れると考える。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市民より開催日の増加を望む声が多い。 子育てサークル等から平日の事業地の活用を望まれている。	

所属長コメント	平成２０年５月の開設以来、市民・NPO法人・行政の協働で実施しているが、今後は地域の大学の協力も受け子どもの健全育成のため、子どもの居場所として活用して参りたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止(事業完了含む)		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		